



会津美里町立新鶴中学校

# 学校通信

2017年8月25日発行 文責：校長 岩澤一徳

## 第2学期スタート! 「殻を破る」日々に!

長かった夏休みが終了し、いよいよ2学期が始まりました。保護者の皆様は少しほっとしておられるのではないのでしょうか。中学校は、小学校とは違って夏休み中も多くの生徒たちが部活動や学習会などのために登校し、その時その時を一生懸命に頑張っていました。

さて、2学期は登校日数82日で、たくさんの行事が予定されています。その一つ一つをただ例年通りとするのではなく、さらに一段階高めて実り多き学期として参ります。以下の文章は、校長が始業式で話した内容です。子どもたちが持つ限りない可能性を引き出し、より大きく成長できるよう心と体と頭脳を鍛えていきたいと思えます。今学期もご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



【2学期始業式】

### 【第2学期始業式】(2017年8月25日)

皆さん、おはようございます。今年の夏は雨の日が多く、少し残念な思いをしましたが、有意義に過ごすことはできましたか。夏休みと言っても、毎日のように各部活動や駅伝、合唱、英語弁論等のために学校に来ている姿を見ました。3年生は三者面談や夏季学習会もあって大変だったと思います。

そんな中、木村有希君の東北大会優勝、全国大会出場、合唱部の福祉施設訪問や音楽祭「奨励賞」、少年の主張大会最優秀、優秀賞入賞など、素晴らしい足跡を残す活躍に感動しました。夏休みの課題にも、きっと各自が一生懸命に取り組んだことでしょう。大変頑張った夏にできたように思います。

今日から2学期が始まりますが、初めに新しい友達を紹介します。会津若松市立河東中学校から2学年に転入した「山田優真」君です。山田君、こちらに来て全校生にあいさつをしてください。【山田君のあいさつ】山田君ありがとう。新鶴中学校での学校生活に慣れるには時間が必要だと思うので、皆さん色々親切にしてくださいね。

さて、2学期について話をしますが、2学期は82日と一番長い学期であり、たくさんの行事があって多くの実りが期待される時です。学校全体で心ひとつに頑張っていくために、2学期のスローガンを提案します。1学期には「**気づき・考え・実行する**」という言葉でしたが、これは年間を通して意識しておきたい言葉ですので、2学期は「**殻を破る**」というスローガンを合い言葉にしたいと考えています。

「**殻を破る**」とはいろいろな意味合いがありますが、「**自分の中の固定観念や制限を大きく変え、新たな息吹や変化をもたらす。**」と考えてください。

今までの学校や皆さんのことを夏休みに考えてみました。目標を持ち、そこに向かって本当によく努力をしてきていると思いますが、その上で2学期はもう一段階目標設定や追求努力のレベルを上げて、「**今までの殻を破る**」活動をしていきたいと考えます。私も先生方も、皆さんの成長を思い描いてより一層頑張ります。今の学年での2学期は二度とありません。学習も運動も生活も、こんなに頑張ったことはないというほど努力して、新しい自分や学年・学級の歴史を作っていってほしいと思います。

さあ、2学期は実りの時期です。82日間を充実させ、全員がこんなに素晴らしい成長ができた<sup>と喜</sup>と報告し合えるように切磋琢磨していきましょう。